

今週のセルグループ(赤字)		4月26日(日)~5月2日(土)	
セル(リーダー)	次回の日時	場所	前回の証しなど
リバイバル 北山姉	お休み		
グレイス 鈴木千姉	お休み		
Gospel 鈴木尚姉		4/12 3名	イエス様のみことばを聞く時、心は熱く燃やされるのだ!
オイコス 磯貝姉	お休み		
からし種 磯貝姉	お休み		
ユース 岩下兄	お休み		
Rock 鈴木洋兄	お休み		
シャローム 平岩姉	お休み		
なつめやし 高橋智姉	4/26(日) 礼拝後	4/19 6名	祈りのリクエストをして、互いのために祈りました。
リジョイス 杉本姉	お休み		
ジョイフル 穂刈兄	未定	4/5 5名	この一年守られ必要が満たされやってくれたことは、本当に神さまのあわれみ。
アガベ 長塚姉	お休み		
サクセス 鈴木勝兄	お休み		
リーダーズ セル	お休み		
セル研修	休講		
羊・ビジョン 平岩恵兄・栗永兄	毎日曜日 午後1:00	4/19 4名	出来でも出来なくても、「はい」と応答して、実行する力を与えて下さいと祈った。
worship 長塚寛兄	中止		
中学生 梅田姉	中止		
キッズ2 小山姉	中止		
キッズ1 芳井姉	中止		
Shine 小原姉	お休み		
ギデオ 芳井兄	お休み		
カルバリ 野田兄	お休み		
神の家族 伊岐見真姉	4/26(日) 午後7:30	4/12 2名	ただ主に素直に賛成していくことで、本当に心が守られています。

礼拝奉仕		聖日礼拝		祈禱会	
		司会	奏楽		奏楽
今週	4/26 (日)		鈴木千姉	4/30 (木)	鈴木千姉
来週	5/3 (日)		鈴木尚姉	5/7 (木)	鈴木尚姉
		開始時間 午前10時		開始時間 午前10時	

- 祈りの課題**
- ・人々の救いを覚えて
 - ▶家族知人をキリストへ
 - ▶教会近隣の人々の救い
 - ▶東海地方の救いのために
 - ▶日本の救いのために
 - ▶世界の救いのために
 - ・働きを覚えて
 - ▶バイブルスタディの働き
 - ▶リバイバルクワイヤーの働き
 - ▶リバイバルママズの働き
 - ▶那古野アウトリーチの働き
 - ▶祈禱会の祝福
 - ▶日曜礼拝の祝福
 - ▶牧師の働き
 - ・ギデオ協会の働きのために
 - ・セルグループの祝福
 - ▶LIG人生変革グループの祝福
 - ・プレーヤーハウス獲得のために

聖日礼拝 (日曜)	(第一) 午前 9:00~10:30 (第二) 午前11:00~12:30
キッズセル(子供礼拝) (日曜)	午前 9:00~10:30
日曜礼拝バイブルスタディ (日曜)	午前11:00~12:30 ☆第一礼拝に出席してから、ご参加下さい。
バイブルスタディ (第1、第3火曜)	(昼) 午後 1:00~ 2:30 (夜) 午後 7:00~ 8:30
祈禱会 (木曜)	午後 7:00~ 8:30
特別早天祈禱 (土曜)	午前 6:00~ 7:00

主の御手 週報 NO.1292

2020年4月26日(日)発行 4月第4週

私たちのビジョン [宣教] 主の御手が彼らとともにあったので、
(使徒の働き11:21) 大ぜいの人々が信じて主に立ち返った。

日曜礼拝

開始10時

- ・讚美
- ・祈り (祈りの姿勢をおとり下さい。)
- ・メッセージ
- ・祈り
- ・神への感謝 (集会感謝の献金があります。ご意志で自由にどうぞ。)
- ・主の祈り (初めての方はスクリーンをご覧ください。)
- ・自由献金 (本日は、プレーヤーハウスのための献金が特別にあります。ご意志で自由にどうぞ。)
- ・連絡

お願い

- (1) 礼拝後は、必ずコイノニアルームなど、室内にお入りください。道路上にとどまることがないようにお願いします。
- (2) また、必ず一度は、コイノニアルームに立ち寄りをお願いします。重要なお知らせなどがあります。

今年のテーマ **[感謝]** すべてのことにおいて感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたに望んでおられることです。(テサロニケ人への手紙 第一5章18節)

日曜日は教会へ

主の御手がともにある
名古屋バイブルチャーチ

〒451-0042 名古屋市西区那古野2-20-19
TEL 052-587-5060 FAX 052-587-5061 牧師 中西幸輝



「ヨハネ8：51 まことに、まことに、あなたがたに言います。だれでもわたしのことばを守るなら、その人はいつまでも決して死を見ることがありません。」

「デッドマン・ウォーキング」

先日、「デッドマン・ウォーキング」という映画を観ました。ノンフィクション映画です。死刑制度に反対するシスターが、殺人と強姦の罪で死刑判決を受けた囚人のカウンセラーとなり、死刑が執行されるまでの間、彼の心に寄り添い続けます。彼女は、無実を主張する彼の思いを汲み取り、死刑執行を回避しようと奔走します。そして、愛する我が子を失い悲しみに暮れる遺族と面会をする中で、「彼は本当に犯行に及んでいないのだろうか」と、当惑し始めます。それでも、彼女は死刑執行を回避するために、弁護士を通して特赦審問会に請求手続きをしたり、知事に直接請願をするもののすべて却下されます。いよいよ死刑執行が目

前に迫ると、彼の心に変化が訪れます。「殺したのは自分だ。

（亡くなった）二人の死に責任を感じる。昨夜二人のために祈った。」と、泣きながら彼女に心の内を明かしました。彼は自分の犯した罪を認めて、神の赦しを受け取ったのです。

一つの事件をきっかけに、それに関わるシスターや囚人、遺族たちの人生が全く変わっていく様子や、心の変化がとてモリアルに描かれていました。人は死を目の前にすると、本当の自分の姿に気づかされると同時に、神の存在を求めるようになっていくのだということを、この映画を通して感じました。

誰もが直面する「死」という現実

「死」は、誰もが避けて通ることのできない事実であります。どんなに素晴らしい功績を残したとしても、「私はとても幸せでした」と言える人生を送ったとしても、いずれ人は死んで持っている物をすべてを失います。聖書は、「人はたとえ全世界を手に入れても、自分のいのちを失ったら何の益があるでしょうか。

（マタイ16：26）」と語っています。

MacやiPhoneなどでIT業界に革命を起こし、世界のリーディングカンパニーへと導いた、あのアップルの共同創業者スティーブ・ジョブズも、刻一刻と近づいてくる死という現実を前にし

て、次のように言っています。「病気でベッドに寝ていると、人生が走馬灯のように思い出される。私がずっとプライドを持っていたこと、人から認められることや富は、迫る死を目の前にして色あせていき、何も意味をなさなくなった。」死という現実を前にして、私たちはどうすればよいのでしょうか。

生と死を支配される神

今現在、世界最高齢と認定されている人が、福岡県に在住しています。田中力子（かね）さんという女性で、117歳になるそうです。老人ホームで暮らし、毎日大好きなチョコを食べながら、入居者たちとオセロをして楽しんでいるそうです。誕生日に市長から花束を渡されると、「死ぬ気がせん。そんなこと考えたことがない」と答えたそうです。日本人の平均寿命が80～90歳と言われている中で、117年も生きてると聞くだけで驚きます。

それでもやはり、人はいつか死を迎える時がやってきます。それがいつであるのか、人にはわかりません。万物の造り主なる真の神だけがご存知であります。主は無限であり、永遠であります。命を与えることのできるお方であると同時に、命を取り去ることのできるお方です。「神である主は、その大地のちりて人を形造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。それで人は生きるものとなった。（創世記2：7）」

キリストを信じて生きる道

私たち人はみな、死後どこへ行くのかということを確認する必要があります。人はみな生まれながらにして罪人で、その行く着く先は死であり、永遠の滅びです。これほど恐ろしいことはありません。死んで裁かれ、滅びに至ってしまう立場にあるのが人間です。その滅びゆく人間に、救いの手を差し伸べてくださったのが、イエス・キリストの救いです。人がこの罪の中から救われて天国へ行く道はただ一つです。イエス・キリストを信じることです。この救いを知らない人は、自分がこれからどこへ行くのか、目的地も分からないまま旅をしているような人と同じです。

イエス・キリストだけが、「死」に打ち勝ってくださった唯一なるお方です。この方を信じる者は「決して死を見ること」はなく、永遠のいのちをいただくことができるのです。「私はこれからどこへ行くのか」。このことを明確に知って生きられる恵みに感謝します。